ムービーは
こちら

ハンディ検針システム

目視による検針作業を無線検針システムへ。計器１台からシステム構築を実現

ハンディ検針システムの特長

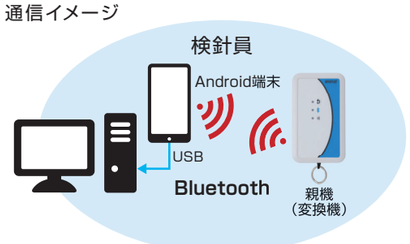
目視で行っていた検針の“お困りごと”を解消!!

- 特定小電力無線通信を用いた周回型検針システムです
- 電力量計、水道計器が同一システムで検針可能です
- 電文式計器を用いたシステム構築で誤計量をなくします
- 計器１台から、予算に合わせてシステム構築が可能
- 無線子機設置のみのため、検満更新時など、システム導入が容易
- 無線は見通し約 1000m※、高所や天井裏の難検針を緩和

※通信距離は保証値ではありません。現場の環境により変動します。

〈システム構成例〉

通信イメージ



特定小電力無線
920MHz

通信機能付メーター ＋ 無線子機（電力）

通信機能付メーター ＋ 無線子機（電力）

電子式水道メーター ＋ 無線子機（水道）
※東京都水道局電文仕様2.6A準拠

小規模から大規模

検針端末

現地密着型

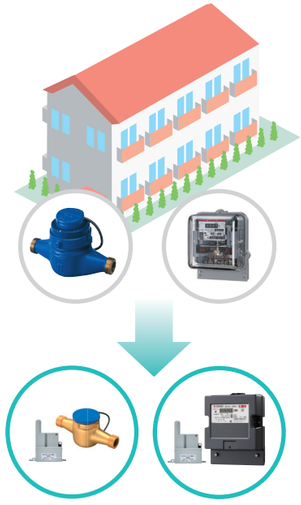
半自動

■例えばこんな場所で

テナントの多いビル

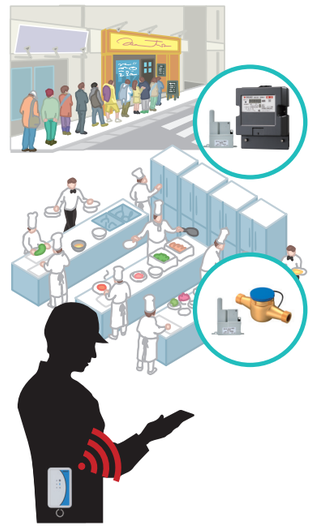
目視による検針作業から無線検針へ!
検針業務を大幅に簡略化!
転記によるヒューマンエラーも防止します!

既設物件など



配線工事等を省力化。
電気だけでなく水道にも対応!
検針業務を大幅に効率化します!

忙しいお店など



店舗に入らず検針を実現。
お店の営業を邪魔しません!

画面イメージ

CSV

表計算ソフトに読み込んだ例

各テナントの検針を実施する際のアプリ画面です。

テナント付近で［読取］ボタンにて指針値を取得します。